



本プロジェクトは2022年度中国5県休眠預金等活用コンソーシアムによる「中国5県における発災時の相互支援体制構築に向けた地域の支援団体育成・強化事業」の実行団体として助成を受け実施しています。

だれ一人、取り残さないために。



2025/ 1/24 金

14時～17時(開場13時30分)

◎パルトピアやまぐち2階 第1会議室

会場
+
オンライン
ハイブリッド開催

第5回被災者支援ソーシャルワーク研修

被災者支援における 法制度・人権を考える

1. 話題提供

①『災害支援の制度化と多様化する被災者ニーズー支援における協働ー』

講師: 速水 聖子 氏(山口大学人文学部 教授)

②『災害の影響を受けた人びとと地域に活かす災害支援の国際基準』

講師: 原田 奈穂子 氏(岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 教授)

2. 研 修

「被災者支援の制度と課題」

講師: 津久井 進 氏(弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所 弁護士)

◎参加無料

被災者支援に携わる方、またはその可能性がある方や関心のある方

①自治体職員 ②社会福祉協議会職員 ③市民活動・ボランティア活動に関する中間支援機能を担う組織・機関のスタッフ ④被災者支援を担うNPO団体、広域避難者支援団体、企業 ⑤専門家(弁護士・司法書士等士業、医療・福祉関係者、研究者等) ⑥地域福祉に携わる方(民生委員・児童委員等) ⑦地域づくりに携わる方 ⑧防災・減災に取り組む組織や団体の方・その他、災害支援に関心のある方(一般、学生、ボランティア)

被災者支援における 法制度・人権を考える

2025/1/24(金) 14時～17時00分

パルトピアやまぐち2階 第1会議室(山口市)

会場 + オンライン
ハイブリッド開催

災害時の広域避難をご存知ですか？

近年、災害の頻発化・激甚化により各地で甚大な被害が発生しています。住み慣れた土地を離れ避難する「広域避難」はさまざまな問題を引き起こしています。被災者支援ソーシャルワーク研修では、被災者支援を強化するための体制構築を目指し、平時も含めだれ一人取り残さない、互いに助け合う災害文化の醸成、そして広域避難者支援コーディネートを目的として、学び合う機会を設けています。

第5回目は、被災者支援における法律や制度について学びます。特に、住民票のない地域へ避難を余儀なくされた被災者「広域避難者」に向けた支援を実施するにあたり、どのような法律があるのか、また災害時における人権への配慮について学びます。

[プログラム]

1. 話題提供：

①「災害支援の制度化と多様化する被災者ニーズー支援における協働ー」

講師：速水 聖子 氏(山口大学文学部 教授)

②「災害の影響を受けた人びとと地域に活かす災害支援の国際基準」

講師：原田 奈穂子 氏(岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 教授)

2. 研 修：

「被災者支援の制度と課題」

講師：津久井 進 氏(弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所 弁護士)

3. グループワーク：参加者のみなさんと意見交換の時間をもちます

[日 時] 2025年1月24日(金) 14:00～17:00 (開場13:30)

[会 場] パルトピアやまぐち 2階 第1会議室(山口県山口市神田町1-80)

[アクセス] ●JR新幹線、山陽本線をご利用の場合：JR新山口駅よりタクシーで20分／

防長バスで「湯田・山口」「山口」行きの湯田温泉バス停で下車後、タクシーで5分、徒歩で15分

●JR山口線をご利用の場合：JR湯田温泉駅よりタクシーで約10分／JR山口駅よりタクシーで約10分

[お申込み] ①または②の方法でお申し込みください。(締切：1月22日(水))

①右のQRより必要事項を記入の上、お申し込みください。

②メールにてお名前、連絡先(メール及び電話)、ご所属を記入の上、

ほっと岡山(hotokayama@gmail.com)までお申し込みください

お申し込み
フォームQR



[ご参加について] 無料(要申し込み)

※オンライン参加の場合は、ご登録されたメールアドレス宛に参加用URLをお送りします。

※本研修プログラムは2024年6月～2026年2月(全10回)の連続コースを実施しています。

●基礎研修 2024/6/14(岡山)・10/1(岡山)・10/25(島根)・12/6(広島)・2025/

1/24(山口)・2025/3月(鳥取) ●応用研修 2025年7月, 9月 ●総括 2025年

11月 ●プロジェクト報告会 2026年1月連続受講をおすすめしますが、単発参加も可能です。

[講師プロフィール]

◎速水 聖子 氏

山口大学文学部教授(社会学)、NPOやまぐち県民ネット理事

専門は地域社会学。災害研究に取り組んだきっかけは長崎県雲仙普賢岳噴火災害で、被災地における地域住民活動とコミュニティ再生について研究している。2011年の東日本大震災においては、距離を超えた自治体間での行政・民間レベルでの災害支援について調査研究を行う。その縁で、「ひろしま避難者の会アステカ」の記録誌作成に社会学研究室として協力している。

◎原田 奈穂子 氏

岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科教授

看護師・保健師。2013年からスフィア基準トレーナーとして、主に国内の災害支援者や行政職員を対象に、正しくこの基準を理解してもらうための研修を開催。また日本プライマリケア連合学会による災害支援ではこの基準を用いた支援を展開。能登半島地震および豪雨災害に際しても、本基準を用いながら現在も支援を展開中。

◎津久井 進 氏

弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所 弁護士

日弁連の災害復興支援委員会委員長として支援を行うなど、「災害弁護士」としての活動等を精力的に続ける。兵庫県震災復興研究センター共同代表、一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会共同代表、公益財団法人こども財団理事長他。主な著書に『大災害と法』、『災害ケースマネジメント◎ガイドブック』ほか多数。

ほっと岡山の
各種情報は
こちらどうぞ



[主催・お問い合わせ]

一般社団法人ほっと岡山 〒700-0921 岡山県岡山市北区東古松1-14-24 コーポ錦1階

Tel:070-5670-5676 | Fax:086-230-4561 | Mail:hotokayama@gmail.com | HP :https://hot-okayama.net/